

『進化したQCサークル活動(e-QCC)』

ビジョン

(e;evolution・進化)

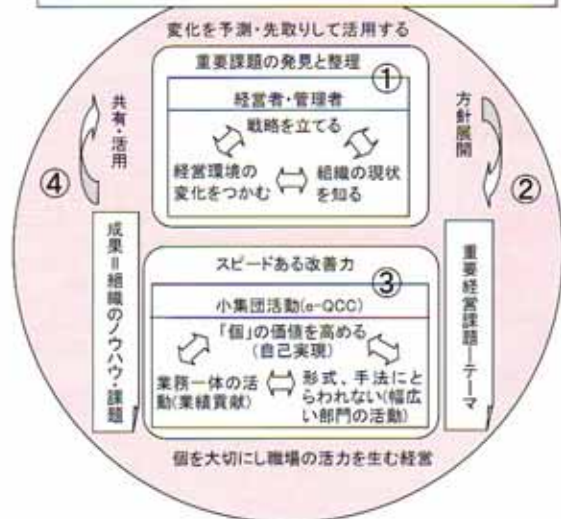
進化したQCサークル活動を確立し、定着を図る

「個」の価値を高め、感動を共有する活動

業務一体の活動の中で自己実現を図る活動

形式にとられない、幅広い部門で活用される活動を目指す

経営におけるe-QCC(小集団)活動の役割



- 経営者・管理者は、経営環境の変化を機敏にとらえ、組織の現状を把握して戦略をたてる。そして、重要課題を発見する。(図の①)
- 経営者・管理者が発見、抽出した重要課題は方針管理によって第一線職場に展開され、小集団活動のテーマとして優先的に取り上げられる。(図の②)
- 一方、小集団活動は、職場の環境変化に適切に対応し、業務活動の中で自己実現の場をつくり、「個」の価値を高めつつ、スピードのある改善を進め、現場力を確保する。(図の③)
- 小集団活動によって得られた成果は、組織のノウハウ、情報として蓄積し、これを全部門が活用できるようにフィードバックする(図の④)

進化したQCサークル活動
(小集団活動)に取り組んで
みませんか。

「あなたの会社の現場力は!？」

第一線職場の現状と対策について

次ページに要約しました。

是非お目通し下さい。



お問い合わせ先:

QCサークル本部事務局

TEL:03-5378-9815

FAX:03-5378-9843

E-mail:juseqccd@juse.or.jp

日本企業の抱える課題

- ・収益の向上、財務体質の改善
- ・国際競争力の強化(対欧米、中国)
- ・地球環境問題への対応
- ・企業ガバナンスの確立
- ・円高、原油など素材の高騰対策



第一線職場が変貌している

- ・効率化による人員削減、職場の流動化
- ・教育・研修の縮小、技能伝承不足
- ・非正社員の増加、技能の低下
- ・働く意欲の低下、品質意識の低迷
- ・一度重なる設備事故、市場品質トラブル



新しい小集団活動の提案

職場の環境変化に対応して、
活動の形や進め方を工夫して改善する。

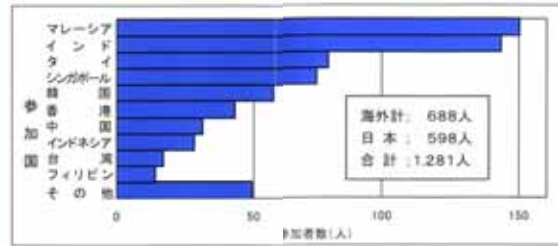


「進化したQCサークル活動」(e-QCC)

(e-QCCの「ビジョン」「経営における役割」は裏面に掲載してあります。)

海外でのQCサークルに学ぶ(国際QCサークル大会(03.10.7~10)から)

・国際QCサークル大会へ積極的参加



・製造以外の幅広い活動
(分野別発表件数)

国際QCサークル大会 (ICQCC 2003 TOKYO) 【テーマ別発表事例集】			
区分	海外		日本
	20	30	10
製造の品質	24		8
サービスの質	18		2
設備・機械	18		5
生産性	15		5
QCサークルの運営	18		16
計	93	総計129	36



現場が
おかし
いぞ？

現場力の低下

日本の現場はどうした？

あなたり会社の現場は大丈夫？

新しい分野の活動が始まった

- ・病院・医療機関からは改善事例多数
- ・福祉施設では毎年QCサークル大会
- ・行政機関は県・市・町でTQM研修
- ・航空自衛隊が全日本選抜QCサークル大会で発表



◆進化したQCサークル活動(小集団活動)に取り組もう！



◆重要課題の先取り、スピード改善、情報・ノウハウ共有化



製品・サービス・仕事の質向上、現場の人材育成(人づくり)



現場力の再構築

